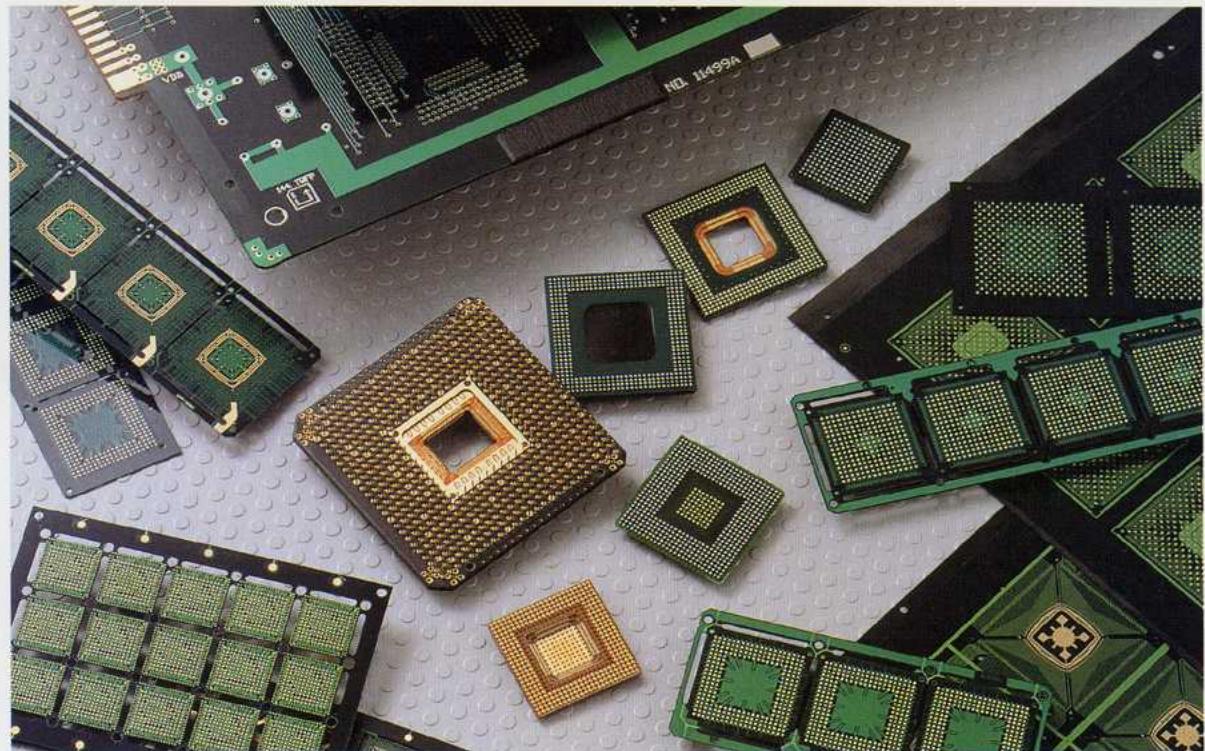


MGC TODAY

特色ある優良化学会社を目指して

第74期中間事業報告書

平成12年4月1日～平成12年9月30日



MGC

三菱ガス化学株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当社第74期上半期(平成12年4月1日から平成12年9月30日まで)の中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当上半期のわが国経済は、企業部門を中心に設備投資が増加し、自律的回復に向けた動きが続く一方、個人消費は横這いの状況が続き、景気回復への動きは依然として緩やかなものでした。

化学工業におきましては、IT関連需要の好調はあったものの、円高や原油価格の高騰により相変わらず厳しい状況が続きました。

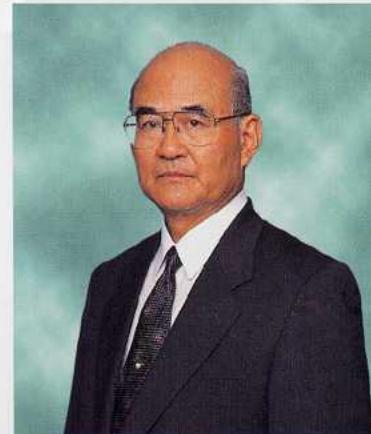
このような状況の中、当社は(1)事業と経営資源の「選択と集中」、(2)資産効率向上による健全な財務体質の構築、(3)カンパニー制導入を機軸とする新経営管理体制の構築と実践、という3つの基本方針のもと、収益の改善に懸命に取り組んでまいりました。しかしながら、売上高は対前年同期比102億8千万円増の1,120億円となりましたが、経常利益は同6億2千万円減の4億4千万円、中間利益は同1億9千万円減の6億円にとどまりました。

株主の皆様への中間配当金は、上記業績および経済環境の先行きの不透明感などを勘案し、誠に遺憾ながら、前中間期から1円減の1株につき1円50銭とさせていただきました。

今後の経済情勢は、企業部門を中心に回復基調が持続するものと期待されますが、米国経済とアジア経済の先行きや、個人消費の動向など不透明な要素もあり、景気の回復は依然予断を許さない状況であります。化学工業におきましても、原油価格の上昇によるコストアップと世界規模での競争の激化により経営環境は厳しさを増しています。

このような状況認識にたち、当社は本年よりスタートした新経営管理体制のもと、中期経営計画「MGC進化21」の着実な実行を通じて、業績の改善に全力を傾注し、安定的な収益基盤を確立すべく努力してまいります。

株主の皆様には、何卒倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



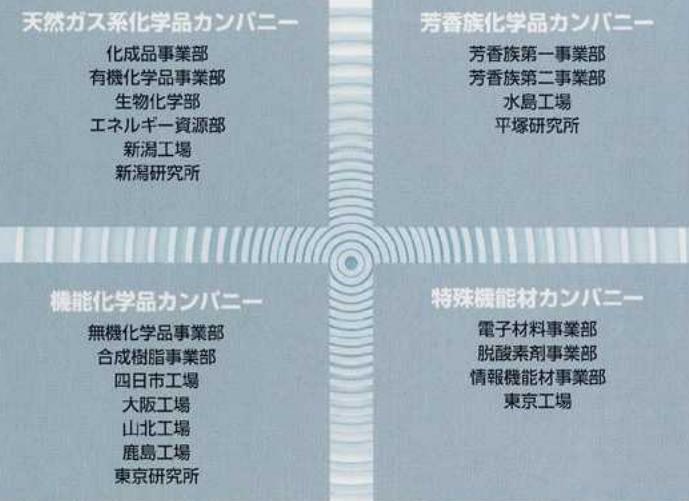
平成12年12月
取締役社長

大平晃

MGC進化21

MGCは、中期経営計画「MGC進化21」実現に向け、社内カンパニー制を導入しました。

各カンパニーは、損益と投資に関わる自己責任のもと、自立的経営体として「MGC進化21」の目標達成に邁進します。

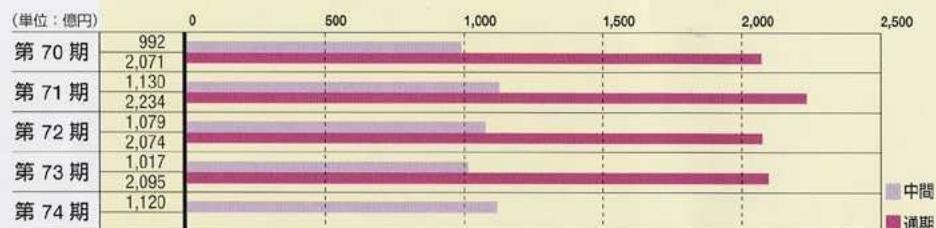


「MGC進化21」数値目標

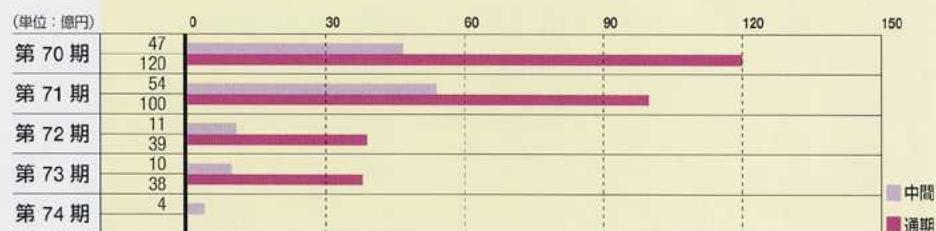
ROA(総資産当期利益率)	: 3% (2002年度)
有利子負債削減	: 300億円 (3年間合計)
固定費削減	: 50億円 (1999年度対比)

主要経営指標の推移

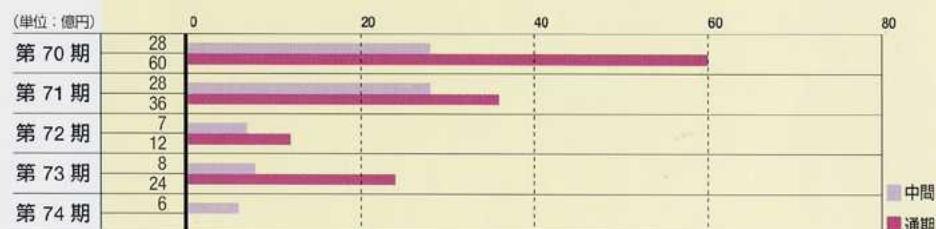
売上高



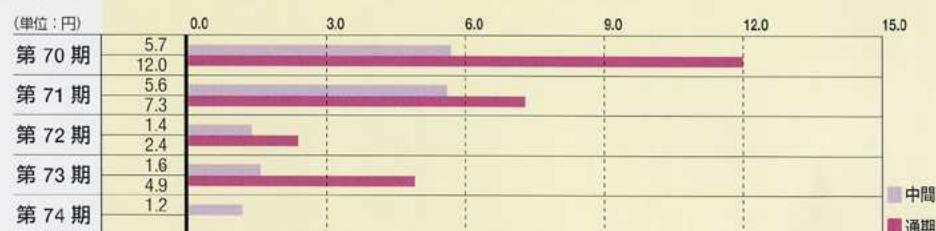
経常利益



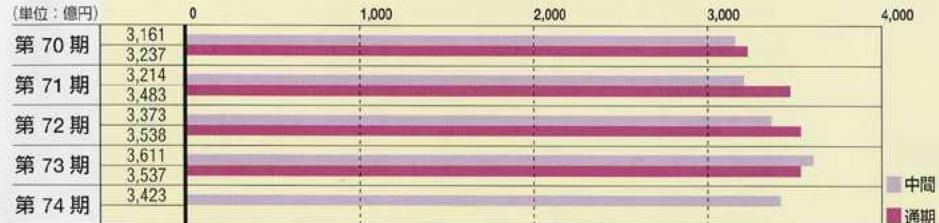
当期利益



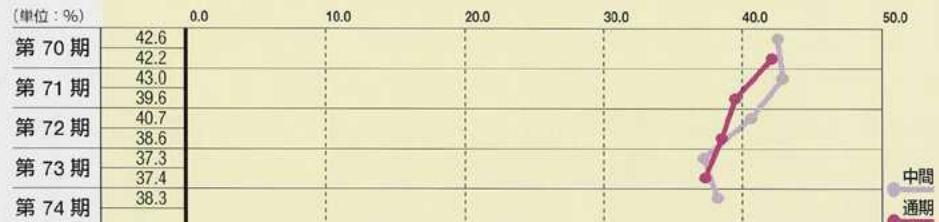
1株当たり当期利益



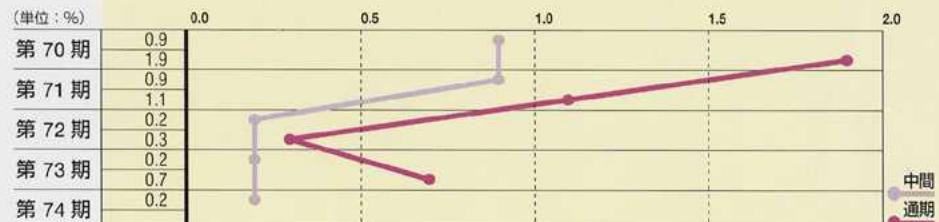
総資産



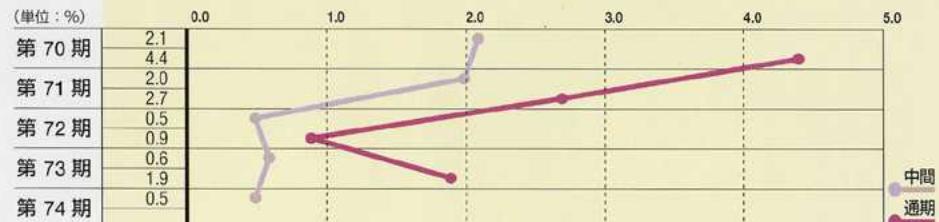
株主資本比率



ROA (総資産当期利益率)



ROE (株主資本当期利益率)



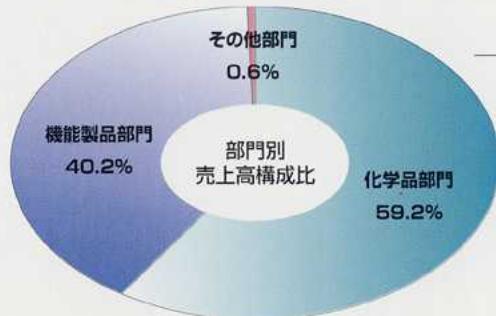
化学品部門

化学品部門の当上半期の売上高は、対前年同期比36億7千万円増の663億3千万円となりました。

メタノール・アンモニア系製品では、メタノールは国際市況が上昇し売上高が増加しましたが、誘導品であるホルマリンの売上高は横這いで推移しました。アミン系製品の売上高は増加しましたが、メタクリル酸メチル及びエステル系製品は販売数量の減少やユーロ安の影響などにより、売上高が減少しました。ポリオール類は輸入品の攻勢のため低調に推移しました。アンモニア系製品の売上高は横這いで推移しました。

キシレン系製品では、メタキシレンジアミンをはじめとするメタキシレン誘導品が好調に推移しました。バラキシレンとその誘導品である高純度テレフタル酸は、販売数量・価格ともに増加し、売上高が増加しました。フタル酸系可塑剤は、当上半期よりチッソ(株)との合弁会社に移管したことで売上高が減少しましたが、その原料である無水フタル酸及びアルコール類の売上高は増加しました。

工業薬品類では、過酸化水素は塩素代替需要により販売数量が増加しましたが、販売価格が下落し売上高は減少しました。水加ヒドラジンは需要の低迷により売上高が減少しました。



機能製品部門

機能製品部門の当上半期の売上高は、対前年同期比71億5千万円増の450億7千万円となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、ポリカーボネートを中心として旺盛な需要に支えられ、売上高が増加しました。プリント配線板材料は、IT関連製品の世界的な拡大の中、半導体パッケージ向け用途、通信機器用途ともに販売数量が増加し、売上高が増加しました。食品の鮮度保持等に使用される脱酸素剤「エージレス」の売上高は横這いで推移しました。電子工業用薬品類は、液晶ディスプレイ用途が伸長ましたが販売価格が下落し、売上高は微増にとどまりました。レンズモノマーは販売数量が減少し、売上高が減りました。情報機能材料は、北米を中心とする光通信需要の急増を受け、磁性ガーネット単結晶が好調に推移し売上高が増加しました。

その他部門

その他部門の当上半期の売上高は、対前年同期比5億4千万円減の6億1千万円となりました。

技術販売は、メタノール法各種ガス製造技術等の販売がありましたが、前年同期に比べ売上高は減少しました。地熱事業の蒸気販売は横這いで推移しました。

機能製品部門売上高 (単位:億円)

期間	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期
中間	306	356	379	379	450
通期	635	735	765	780	

■ 中間 ■ 通期

その他部門売上高 (単位:億円)

期間	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期
中間	12	32	33	11	6
通期	41	45	45	31	

■ 中間 ■ 通期

中間貸借対照表

(平成12年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額
(資 産 の 部)	
流動資産	138,231
現金・預金	12,690
受取手形	10,915
売掛金	69,416
有価証券	4,700
棚卸資産	35,599
その他	4,908
固定資産	204,140
有形固定資産	129,701
建物・構築物	36,632
機械装置	58,999
土地	16,029
その他	18,040
無形固定資産	1,121
投資等	73,317
投資有価証券	55,551
子会社株式・出資金	10,981
その他	6,784
資産合計	342,371

科 目	金 額
(負 債 の 部)	
流動負債	126,238
支払手形	2,879
買掛金	35,299
短期借入金	54,789
一年内償還社債	10,000
その他	23,269
固定負債	84,852
社債	40,000
転換社債	1,428
長期借入金	35,779
退職給付引当金	7,083
その他	561
負債合計	211,090
(資 本 の 部)	
資本金	41,970
法定準備金	42,323
剰余金	46,986
(うち中間利益)	(607)
資本合計	131,281
負債・資本合計	342,371

中間損益計算書

(平成12年4月1日～平成12年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	112,018
売上原価	95,840
販売費及び一般管理費	15,199
営業利益	978
営業外収益	2,087
営業外費用	2,624
経常利益	440
特別利益	11,523
特別損失	11,750
税引前中間利益	213
法人税、住民税及び事業税	641
法人税等調整額	△1,034
中間利益	607
前期繰越利益	5,670
利益による自己株式消却額	539
中間未処分利益	5,737

役員

取締役会長	西川 禮二	[代表取締役]
取締役社長	大平 晃	[代表取締役]
専務取締役	今井 靖夫	[代表取締役]
専務取締役	東郷 静雄	[代表取締役]
常務取締役	池田 幸男	
常務取締役	尾方 康紀	
常務取締役	加藤 泰久	
常務取締役	小高 英紀	
常務取締役	正木 定男	
常務取締役	中村 博海	
取締役	渡部 博	
取締役	川木 隆雄	
取締役	藤森 正也	
取締役	高見澤 雄次	
取締役	井上 六郎	
取締役	田中 徹	
取締役	五島 歸一	
取締役	喜嶋 安彦	
取締役	荻野 富弘	
取締役	小松 俊夫	
監査役	大塚 貞夫	(常勤)
監査役	廣山 忠亮	(常勤)
監査役	伊藤 秀嗣	(常勤・社外)
監査役	田口 弥	(非常勤・社外)

(平成12年9月30日現在)

◎社名

三菱ガス化学株式会社(登記社名:三菱瓦斯化学株式会社)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

◎コーポレートシンボル



◎本社所在地

〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル

◎事業所

営業所: 大阪支店

名古屋支店

福岡営業所

研究所: 総合研究所

東京研究所

新潟研究所

平塚研究センター

工 場: 東京工場

新潟工場

水島工場

四日市工場

大阪工場

山北工場

鹿島工場

◎主要取引銀行

(株)東京三菱銀行

三菱信託銀行(株)

(株)日本興業銀行

農林中央金庫

(株)横浜銀行

化学品部門

[メタノール・アンモニア系製品]

メタノール

ホルマリン

アミン類

ジメチルホルムアミド

ジメチルアセトアミド

メタクリル系製品

アンモニア

尿素

多価アルコール類

[その他工業製品]

過酸化水素

ハイドロサルファイト

苛性ソーダ

水加ヒドラジン

過炭酸ソーダ

過硫酸塩類

化学研磨液

水処理剤

[キシレン系製品]

メタキシレン

バラキシレン

オルソキシレン

エチルベンゼン

高純度テレフタル酸

無水フタル酸

可塑剤

メタキシレンジアミン

MXナイロン

無水トリメリット酸

無水ビロメリット酸

機能製品部門

[合成樹脂製品及びその他製品]

ポリカーボネート樹脂

ポリアセタール樹脂

ポリフェニレンエーテル樹脂

ナイロンMXD6樹脂

エポキシ系銅張積層板

BTレジン系銅張積層板

電子工業用薬品

レンズモノマー

エージレス

磁性ガーネット単結晶

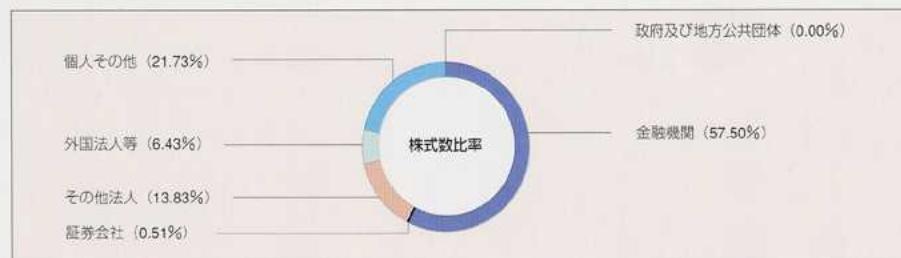
上場証券取引所 東京・大阪・名古屋 各証券取引所第一部

発行済株式総数 483,478,398株

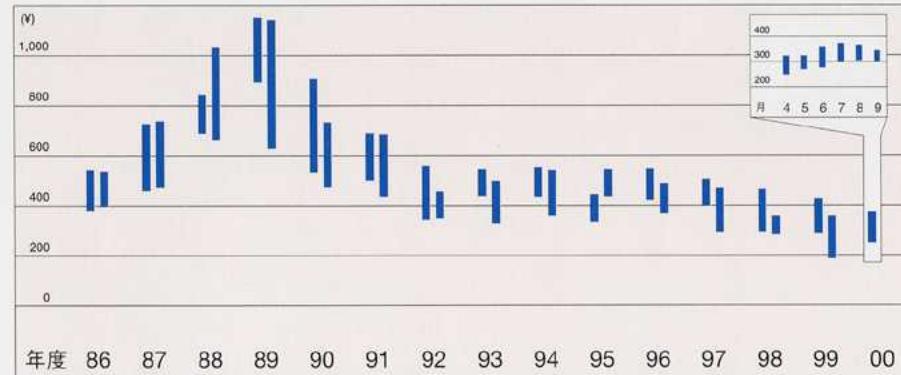
株主数 48,145名

大株主	日本生命保険相互会社	34,546千株	7.1%
	明治生命保険相互会社	23,979千株	5.0%
	株式会社東京三菱銀行	23,389千株	4.8%
	三菱信託銀行株式会社	22,393千株	4.6%
	株式会社日本興業銀行	15,183千株	3.1%
	野村信託銀行株式会社投信口	14,105千株	2.9%
	株式会社横浜銀行	13,711千株	2.8%
	農林中央金庫	12,053千株	2.5%
	住友信託銀行株式会社信託口	9,794千株	2.0%
	旭硝子株式会社	9,671千株	2.0%

所有者別分布状況



株価チャート



株式についてのご案内

決 算 期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
同総会権利行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株券交付手数料	1枚につき200円(消費税・別)
1単位の株式数	1,000株
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
電話お問合わせ	〒171-8508
郵便物送付先	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03) 5391-1900(代表)

住所変更、配当金振込指定・変更、単位未満株式買取請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。

単位未満株式の買取請求について

単位未満株式の売却をご希望の場合(買取請求)は、名義書換代理人にてお取扱いいたします。但し、財團法人証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、お取引の証券会社にお申し出下さい。

MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

ホームページアドレス <http://www.mgc.co.jp/>